

GOLD HILLS

令和3年 1月 vol.13 通信

新年あけましておめでとうございます。

本年も宜しくお願い致します。

皆さまは年末年始をどのように迎えられたでしょうか。

当ホームにおきましては、世情を鑑み派手な催しなどは行わず、穏やかな年末年始となりました。期間中、面会制限を一部緩和し、完全予約制で時間を区切り食堂での対面をご用意しました。複数の入居者様とご家族様ご利用され楽しまれていたようです。

当面、感染予防の対策は継続しまだまだ先行きの不透明な部分も多いかと思いますが、皆様へのサービスの質を落とすことなく充実した日常を送って頂けるよう本年も職員一同努力して参りますので、ご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

ゴールドヒルズ平岸
ホーム長 横山 光利

イベントコーナー

1. 全体研修(手指消毒)



感染症予防対策として看護師が講師となり手指消毒の研修を行いました。これからも「基本」をしっかり行い、感染予防に努めて参ります。



2. クリスマス会



昨年の12.20クリスマス会を開催しました。今年はサンタもフェイスシールドをしてプレゼントを配っていました。クリスマス特別メニュー、管楽器バンドのライブ映像の観賞も楽しませていました。

今月は

1. 全体研修(手指消毒)
2. クリスマス会
3. 謹賀新年 をお送りします

3. 謹賀新年



玄関に門松、受付に鏡餅を飾り、そして入居者様が作った個性的な牛たちが新年と一緒に祝ってくれました。今年もよろしくお願いいたします。

レッツ脳トレ！難読地名クイズ♪北海道編♪



セラビードッグ
りぼんちゃん

『重蘭窮』

ヒント：すごい重厚な漢字ですね。釧路地方にある地名でアイヌ語では「舟下ろしをするところ」という意味があるそうです。

12月号の答えは、「まさりかっぷ」です。石狩市にある地名です。アイヌ語の「マサラカプ」（海岸の木の皮を置いてあるところ）に由来しているそうです。冠を「かっぷ」と読むのは北海道あるあるですよ。今年もまだまだ続きます！次回もお楽しみに！！★

平岸までしよ

～とっておき情報をお届け～

平岸の歴史

平岸の歴史。今回は**昭和**のお話。



昭和2年には路面電車を札幌市が買収し、市電となります。バスや電車が行き交い定山溪鉄道も交差していた室蘭街道（現在の国道36号線）は商店も

立ち並び、まさに交通の要衝と呼ぶにふさわしい賑わいをみせていました。

昭和36年豊平町は郷土のさらなる発展のため札幌市と合併しました。人口も増加の一途をたどり交通体系にも変化の兆しが現れます……。

つづく



各部署イマの取り組み



スペシャルインタビュアー
りぼんちゃん

住宅部門の鈴木管理者にインタビューです。
2021年になりましたね。今年新たに組みんでいきたいこと、すでに動き出していることはありますか？

まずはコロナを乗り越え、落ち着いたらまたボランティアさんを受け入れイベントを充実させたいです。活気ある住宅、そして満室を目指して環境整備・質の向上に取り組んで参ります。今年も何卒よろしくお願い申し上げます。



住宅部門
鈴木管理者

職員紹介コーナー



「リボン定期巡回センター平岸」訪問介護員の香城一二美です。
コロナ禍での新年、本年もどうぞよろしくお願い致します、皆様も同じかと思いますが、一年前このような事態になるとは想像もしていませんでした。

平成11年より、高齢者の方と関わるようになり沢山のことを学び、自分自身成長させて頂いたと思っております。自分にできることは「小さな支え」ですが、歯車の一つになれば良いかと思い携わってきました。

ゴールドヒルズ平岸に入職し、間もなく2年になります。「小さな支え」ですが、今自分にできることで貢献していきたいと思っております。

※お詫び：先月号の青田友恵看護師の紹介文が途中で切れてしまったまま印刷されておりました。
誠に申し訳ありませんでした。